

## 【添付資料（詳細資料）】

### 調査研究の概要（オプトアウト）

#### 1. 研究課題名

幼児を対象とした園内での宝探し遊びの導入による身体活動量の変化

#### 2. 対象者及び対象期間

石川県ウォーキング協会の 2022 年度歩育事業「宝探し遊びの導入による身体活動量の変化」にご協力いただいた県内の保育園 10 園が対象です。対象期間（測定期間）は 2022 年 11 月です。

#### 3. 概要

本調査研究では、幼児の身体活動量を増加させるための手立ての 1 つとして新たに宝探しカードを開発するとともに、保育活動中の身体活動量に着目し、その有効性を検討することを目的としています。調査対象者は石川県下の保育園 10 園に在籍する幼児 207 名です。保育時間の身体活動状況（歩数、中・高強度の活動時間）を測定するために、腰部装着型の活動量計を用いました。活動量計はほとんどの幼児が登園し終える 9 時から、降園し始める 16 時までの間、着替えや昼寝を除いて装着しました。

#### 4. 研究の目的・意義

子どもの体力低下の問題は既に幼児期から始まっていることが報告されており、その対応が求められています。しかし、子どもが自発的に活動したくなるようなしなげづくりの結果、どのような成果が認められるかに関する研究は少ないのが実情です。

本調査研究では、幼児の身体活動量を増加させるための手立ての 1 つとして新たに宝探しカードを開発するとともに、保育活動中の身体活動量に着目し、その有効性を検討することを目的としています。本調査は、身体活動量の保持増進のための手立てを検討する際に役立つと考えられます。

#### 5. 研究期間

2022 年 11 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日

#### 6. 情報の利用目的及び利用方法

石川県ウォーキング協会の歩育事業として 2022 年度に実施した「宝探し遊びの導入による身体活動量の変化」の調査をもとに、その実態を明らかにすることを目的とします。そ

のために、この歩育事業の調査によって得られた歩数などのデータを二次分析します。なお、分析を行う際には、研究者は個人が特定できないデータを取り扱います。

#### **7. 利用または提供する情報の項目**

①園活動中の歩数, ②園活動中の中・高強度の活動時間, ③身長・体重

#### **8. 利用の範囲**

津田龍佑（金沢医科大学）、遠山健太、松井公宏、鈴木宏哉（順天堂大学）

#### **9. お問い合わせ先**

金沢医科大学 准教授 津田龍佑

TEL：076-286-2211（内線 7105）

E-mail：r-tsuda@kanazawa-med.ac.jp